

# 平成22年度 学校自己評価システムシート ( 県立深谷第一高等学校 )

目指す学校像	1 生徒一人一人の進路実現を図るため、学力の向上と大学等への進学を目指した学校 2 部活動や学校行事等を通して、自主・自立の態度を養い、豊かな人間性や健やかな心身を育む学校 3 生徒・保護者や地域の信頼と期待に応える学校
重点目標	1 生徒の学力を伸ばし、大学進学をより一層推進する。 2 部活動や学校行事を一層充実させるとともに、規律ある行動をとれる生徒を育成する。 3 学校公開、貢献活動等をより一層推進し、開かれた学校をつくる。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	4名
	生徒	5名
	事務局(教職員)	3名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価					年度評価(2月1日現在)	
年度目標					評価項目の達成状況	達成度
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	授業には概ね真剣に取り組んでいるが、向上心にやや欠けるところがある。また、家庭学習の習慣が身につけていない生徒が多い。	授業の充実と目的意識の涵養、家庭学習の定着	①教育課程の改善 ②真剣な授業態度の育成 ③家庭学習を前提にした授業の展開 ④教務部学習指導係の積極的活用	①生徒の進路実現に即した教育課程の工夫 ②チャイム着席指導の徹底 ③昨年度比家庭学習時間増 ④学習指導係による授業アンケートの改善と職員研修会での活用、公開授業の充実	①平成25年度実施の新学習指導要領を見据えながら現在検討中である。 ②まだ不十分である。 ③全体としては家庭学習時間は昨年比ほぼ同じであった。 ④授業改善に向けた取組を行っている。また、公開授業時に保護者対象進路講演会を実施した。	B
1	ほとんどの生徒が進学志望であるが、高い目標にもチャレンジしようとする姿勢に欠ける面がある。	大学進学指導等進路実績の向上	①「一般受験対応クラス」の設置 ②ガイダンスの計画的実施 ③組織的な進学補習実施 ④保護者向け進路行事の充実 ⑤「進路だより」等の積極的な発行による生徒・保護者への意識の涵養	①平成23年度3年生からの「一般受験対応クラス」の円滑な設置 ②分野別ガイダンス5回以上のほか、先輩の進路体験を聞く機会等。 ③5教科で計15講座以上開設。 ④参加者の満足度8割以上 ⑤年3回以上の発行	①選抜を行い、来年度は1クラス設置する。 ②進路ガイダンスはこれまで5回行った。3月に「先輩の進路体験を聞く会」を含め2回行う。 ③平日補習を24講座、夏季休業中の補習を27講座行った。 ④進路講演会の満足度は97%、大学見学会は98%であった。 ⑤これまでに11回発行した。	A
2	部活動や学校行事等に熱心に取り組む生徒は多いが、学校中心の生活態度になっていない生徒も一部に見られる。	部活動等の充実と規律ある生活態度の育成	①部活動加入指導 ②学校安全の徹底 ③遅刻指導 ④アルバイトの指導 ⑤服装等の指導	①1年生全員加入と定着率の向上。 ②救急救命法講習会、日常的な設備点検の実施。 ③管理職による遅刻者指導と昨年度比指導生徒減 ④無断アルバイトをゼロ。 ⑤服装等違反者「0」。	①4月当初1年生全員加入。2学期の加入率は全体で79%(昨年79%)1年生は83%(昨年91%) ②生徒33名、職員13名修了認定(職員は昨年すでに54名終了している) ③遅刻指導者(月5回以上の遅刻)は2年生が増えたものの1、3年生は減少した。 ④アルバイトは校長の許可を得てのみ行うよう指導している。無断はほぼ「0」と思われる。 ⑤若干名指導を要する生徒がいたが、概ね良好である。	B
3	保護者、地域、中学生の本校に対する期待は非常に高い。	開かれた学校づくり	①ホームページの頻繁な更新による情報発信改善 ②「ときわ樹だより」の市内全家庭回覧と「深谷第一高校だより」の公共施設への配布。 ③積極的な地域活動への参加 ④校内外における学校説明会の充実	①年100回以上の更新 ②「ときわ樹だより」年2回の発行と「深谷第一高校だより」年5回の発行 ③常盤小学校、深谷市の行事等への積極的な参加 ④年間30回以上の実施	①12月末で89回更新している。 ②「ときわ樹だより」を7月に発行し、次号を3月に発行する予定である。「深谷第一高校だより」は市内全中学校に配布している。 ③「ふかや花フェスタ」に茶道部、家庭部が参加。家庭部は常盤小の1年生との交流及び深谷警察、深谷市役所後援の交通安全キャンペーンを実施。吹奏楽部は常盤小芸術鑑賞会に出演。 ④校内の説明会3回他、中学校、塾等の説明会を35回実施。	A

学校関係者評価	
実施日	平成23年 2月 8日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>☆チャイム着席は概ねできており、授業への取組態度は非常によく、かなり内容を理解出来ているように思われた。知識の蓄積だけでない授業も工夫してほしい。 ☆家庭学習の充実には家庭学習を必要とする授業や宿題の工夫が大切。勉強のしかたの指導も必要。 ☆各教科で授業改善の検討を始めているのは大変よいことである。</p>	
<p>☆「一般受験対応クラス」に入れなかった生徒のケアもしっかりやってほしい。 ☆進路ガイダンスは内容が大切。効果的な内容か検証してほしい。また、生徒一人一人の才能を見据えた指導をしてほしい。 ☆進路ガイダンスの後、自分の危機感のなさに気づき、積極的に進路相談室に行くようになった。 ☆補習については部活優先になってしまう。 ☆学生は、まず勉強を優先してほしい。</p>	
<p>☆授業は知識、部活は情操を育てる。両立させることが大切である。 ☆文化部のレベルが高い。よい作品を作る生徒が多い。 ☆運動部も県ベスト8や16は素晴らしい。 ☆生徒自身から見ても、部活でがんばっている仲間の姿はうれしい。好感を持っている。 ☆深谷第一高校に通っていることに誇りを持っている。 ☆活動的で、明るく、よい学校だと思う。中学校時代からの他校の友人からも認められているよい学校である。 ☆外で見る生徒の服装もきちんとしていた。</p>	
<p>☆ホームページの更新状況を見ると教員が意欲的にやっているのがわかる。 ☆ホームページの情報は学校を知る手軽な手段である。情報が充実して大変よいと思う。 ☆積極的に地域との交流を進め、広報も活発に行っているのはよい。さらに通学路の清掃活動等を実施し、地域に一層愛される学校にしてほしい。 ☆「花フェスタ」の際にPTA花植え活動や校内の樹木・野鳥の紹介などをしても面白いのではないかと。 ☆授業公開はこれからも継続してほしい。</p>	

